

2024 年度 「中国 大連通信」

2024 年 4 月 26 日

駐大連北九州市経済事務所

◆所 長 瀧口 達弘 ◆副所長 松江 拓尚

◆副所長 呂 俐 ◆職 員 畢 偉宸

松江 E-mail: fusuo Zhang@kitakyusyu-dl.com

～日系企業誘致を本格稼働＜大連市＞～

2020 年、中国国家發展改革委員会は日本企業の誘致を目的とし、大連、成都、上海、天津など 6 都市に「日中地方發展協力モデル区」を建設することを決定しました。

大連にある日中(大連)地方發展協力モデル区の 1 つである「日中生態モデル新城」へ視察に行ってきましたので、今回はその紹介をさせていただきます。

■日中生態モデル新城

日中生態モデル新城は、ハイエンド設備産業、新エネルギー自動車及び部品などの産業向けのエリアであるとともに、日系企業が中国に進出する際のベストな候補地に発展させるとの目標を掲げています。

区画面積は約 28 万平方km、大連中心市街地から約 40 km、現在建設中の新空港から約 24 kmの距離に所在しています。2024 年 4 月現在では既に 24 社が進出しており、日系企業は 3 社が進出しています。(今後、もう 1 社の日系企業が進出予定とのこと。)

電気自動車 (EV) 用モーターを生産するニデック (ニデックモータ大連) は、日中生態モデル新城に進出した初めての日系企業です。発表によると、昨年 2 月に開業した新工場には R&D センターも併設され、人員規模は 1,000 人に上るとされています。



※ニデックモータ大連の工場



※空き工場用地

■様々な優遇策

大連市は2023年6月、外貨投資の拡大、安定化、質の向上を図る新たな施策を公表し、外資誘致に本腰をあげています。主な内容は以下の通りです。

1. 資本金1,000万ドル超の外資製造業・現代サービス業の新規進出する外資企業に対し、600万～1,200万元（約1億2千万円～2億4千万円：1元＝約20円）の奨励金の支給。
2. 資本金1,000万ドル超の地域本部（外資系本社）を新設する外資企業に対し、800万元～1,600万元（約1億6千万円～3億2千万円）の奨励金の支給。
3. 基準を満たした研究開発センターを新設する外資企業に対し、50万元～200万元（約1千万円～4千万円）の補助金を支給。

また、工場等の固定資産投資や研究開発センター、地域本部（外資系本社）への補助金を盛り込んだ「企業誘致促進：金十条」や人材雇用に対する補助金等を盛り込んだ「人材誘致：金十条」も策定しており、それぞれの主な内容は以下の通りです。

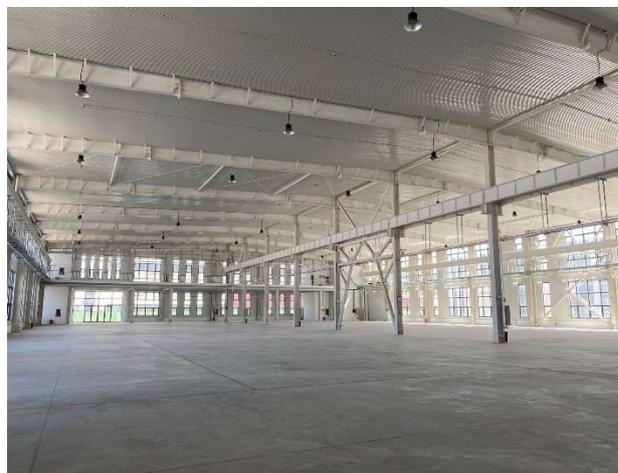
1. 重点プロジェクトの新工場等の固定資産投資を行う場合、投資額の最大10%を支援する。
2. 地域本部（外資系本社）を新設する外資企業に対し、最大2億元（約40億円）の奨励金を与える。
3. 基準を満たした研究開発センターに対し、最大4,000万元（約8億円）の奨励金を与える。人工知能(AI)などの優良な次世代情報技術の新規開発事業に対し、最大3,000万元（約6億円）を補助する。
4. 指定された重点事業の地方経済への貢献状況に応じて、経営支援を行う。
5. フルタイムで雇用する先端人材など基準を満たした人材に対して、最大2,000万元（約4億円）を5年に分けて支給する。

■中小企業向けサービス

日中生態モデル新城には、中小企業向けのサービスも準備されています。その中核を担うのが、「金港日中スマート製造産業園」です。ここでは、貸工場や工場のカスタマイズなどの生産サービス、寮や食堂、オフィスビルなどの付帯サービスを提供しています。貸工場を利用することで、初期投資コストを抑えた形での進出も可能になっています。



※金港日中スマート製造産業園内の寮



※貸出予定の工場

■結びに

日中生態モデル新城は、日系企業の誘致を目的とした日中地方発展協力モデル区の一貫であり、メインターゲットは日系企業となっています。日中生態モデル新城の入口には、日本風の建物や庭園も建設されており、日系企業誘致への本気度が伺えます。

大連は歴史的に日本との関連が深く、大連市内の15の大学で日本語学科が設立されているなど日本語人材が豊富で日本文化への理解もあります。日中生態モデル新城には、日本語を話せるスタッフも常駐しており、進出しやすい環境が整っています。

また近年では、日系企業の要望等を聴取する為に、大連市は日系企業との懇談会を開催しています。懇談会には大連市長自らが出席し、日系企業からの声に真剣に耳を傾けています。中国でのビジネス展開に関心がございましたら、是非お知らせ下さい。



※日本風の建物と庭園